

29研究発表会は二つの会場で

一月二三日(火)に

平成二九年度四国森林・林業研究発表会を、平成三〇年一月二三日(火)に、局大会議室等において開催します。

八月に、局署等及び関係機関等に発表課題を募集したところ、局署等から九課題、自治体等から五課題、教育機関等から五課題、試験研究機関等(特別発表)から五課題、合計二四課題の応募がありました。

大会議室と研修室の
二つの会場等で発表

このことから、二階大会議室のみでの会場から、六階研修室(二階会議室でWEB中継)を追加しました。

審査も委員の方々に、会場ごとをお願いすることになっています。

局署等、関係機関等へは、既にプログラムを送付しています。

発表される方々は、研究の成果を、聴講者に分かり易い説明や資料の工夫等をお願いします。

また、当日、聴講される方は、今後の業務に活かすためにも積極的な質問等もお願いするとともに、可能な限り課題発表の聴講も願っています。

「業務研究発表会」

森林ふれあい部門で受賞

11月30日(木)林野庁において、平成29年度国有林野事業業務研究発表会が開催されました。

四国局から、以下の2部門に3課題を発表した結果、森林ふれあい部門で林野庁長官賞優秀賞を受賞しました。

森林技術部門

- ① 高知中部森林管理署
「二ホンシカ被害防護対策の労力、経費節減の試み」
萩野 伸二 豊永 憲文(四万十署)
- ② 安芸森林管理署
「低コストで効果的な獣害防止対策(斜め張り・L型ネット)及びドローンを活用したシカネット巡視の取組について」
福山 敦之 吉本 和正(嶺北署)

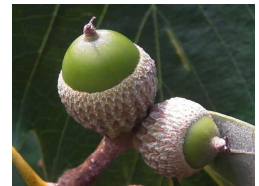
森林ふれあい部門

徳島森林管理署(林野庁長官賞 優秀賞)
「地域の課題解決に向けた民有林との連携」
森本吉男 谷脇はるか

発表された皆さま、ごくろうさまでした。

知っ得 豆知識

「どんぐり」って



「どんぐりころころどんぶりこ」と小学校唱歌にも登場してくるように、どんぐりは秋の野山では子どもたちの人気者です。

どんぐりとは、コナラ(写真上)・クヌギ・シイ(写真下)・カシなどブナ科植物の実の俗称。シイやマテバシイは生で食べれますが、コナラ・カシなどは渋くて食べられません。しかし、縄文・弥生時代の人々にとって、どんぐりは、野生の動物やクリ・クルミなどの木の实とともに重要な食糧であったことが遺跡の発掘品からもはっきりしています。(街の自然観察 矢野 亮著より)

編集後記

2017年も師走に入り、寒さも一段と厳しくなりました。

この季節 風邪対策も十分に、年末を乗りきりましょう。(技術普及課一同)